

大佛次郎 没後50年 記念上映会

風船

川島雄三 監督作品

1956年/日本/モノクロ/110分/ブルーレイ上映



(C) 日活

2023年11月18日(土)

[上映時間] 13:00
[講演] 安川篤子さん(大佛次郎記念館 研究員)
15:00~16:00
[会場] 神奈川公会堂

『風船』

【物語】

かつて天才画家と謳われた画壇を捨て、実業界に転じた村上春樹は、今では写真工業会社の社長として大なる地位と確固たる地盤を築いていた。年よりも若く見える妻・房子は、悩みを抱える性質ではなく、かつては質屋通いをして不況の夫を助けた。三十歳にして父の会社の部長をつとめる息子の圭吉は、それが親の七光りと知りながらも利用する思考を持つのは母親譲り。娘の珠子は幼い頃に病んだ小児麻痺のため身体が弱く、部屋に閉じこもって絵を描くことを好んだが、心は常に明るさと誠実さを失わず、父親ゆずりの気性の持主だった。現代人の持つ端的な要素を村上家の

人々は持ち、一つの葛藤が、この現実の中を大きく流れていく。日本画家・山口純峰の告別式で会った山口の令息・都築正隆は、ナイトクラブのマネージャーをしていた。圭吉の愛人・久美子は、戦争で夫に戦死され、困窮してバーで働くうちに圭吉の世話になるようになった。圭吉に尽くす久美子の誠意は、誠実な心の持ち主・珠子に慕われた。一方、常に利用することが信条の正隆は、シャンソン歌手の三木原ミキ子のパトロン目的で、お坊ちゃん育ちの圭吉に接近させた。久美子をわずらわしく思う圭吉は、ミキ子の誘惑に惹かれていく…。

【キャスト】

村上春樹・・・森 雅之
村上圭吉・・・三橋達也
三木原ミキ子・・・北原三枝

阿蘇るい子・・・左 幸子
村上珠子・・・芦川いづみ
山名久美子・・・新珠三千代

【スタッフ】

監督・・・川島雄三
脚本・・・川島雄三 今村昌平
音楽・・・黛敏郎
原作・・・大佛次郎(毎日新聞連載、新潮社版)
撮影・・・高村倉太郎
照明・・・大西美津男
録音・・・橋本文雄
美術・・・中村公彦

安川篤子さん プロフィール

大佛次郎記念館研究員。横浜市生まれ。東京女子大学文理学部、同大学院修士課程を経て、東京都立大学大学院博士課程(史学)にてフランス近現代史を学ぶ(2006年単位取得満期退学)。2010年より大佛次郎記念館研究室勤務。2016年より現職。これまで「これぞ！おさらぎ歌舞伎」展(2021)、「JAZZが聞こえる ～大佛次郎の昭和モダン～」(2022)をはじめ、現在開催中の「初公開&出版記念『南方ノート』と『戦後日記』大佛次郎が見た戦中・戦後」など、多くの展覧会を担当。また、大佛次郎の30年ぶりの新著となる『南方ノート・戦後日記』(未知谷)では編集チームを結成し5年にわたる編集作業の後、本年8月刊行にいたる。大の猫好き。

<<<横浜キネマ倶楽部のページ>>>

・・・大佛次郎没後50年記念・・・

「原作者・大佛次郎さんによる映画『風船』の評価について」 運営委員 原田英二

大佛次郎さんは映画『風船』について、1956年2月17日(公開の2日前)の毎日新聞に以下の高い評価を寄せられています。

「映画の『風船』はスピーディに展開されるし、はち切れそうにふくれあがっている。原作より若々しく、精彩と充実がある」

「川島君は実によく『風船』を読みこなしてくれているのが有難かった。四つに組んだまともで誠実な仕事であった」

確かに脚色者(川島雄三、今村昌平)は、長編原作の要点を忠実かつ的確に抽出して、2時間以内の上映時間に見事に収めています。

特にラストシーンは映画化するならこれしかない！と思わせる素晴らしい演出となっています。お楽しみください。

.....

第74回「帰らざる波止場」(2023.7.29) アンケート結果 来場者数:211名 アンケート回収数:29枚 回収率:13.7%

○作品についての評価

(とても良かった) 15人(51.7%)

・志村喬は良い役者だな。ウマイ。「夢は夜ひらく」とロケ地が似てる気がする。

・今はない昔懐かしい横浜の風景が良かった。

・大好きな映画(唄が良くて良くて、帰ってからボートと聴いておりました)

(良かった) 12人(41.4%)

・私自身の年代は故石原裕次郎に対する思いは映画というよりも、その後の「太陽にほえろ」のボス役や「西部警察」の小暮捜査課長の役の記憶の方が新しく、石原プロモーションを設立されてからのイメージがとても強い方です(でした。) (個人的意見になっているかもしれませんが)

(あまり良くなかった) 1人(3.4%)

・石原裕次郎の演技と歌は今から見るとあまり良くないと思いました。(笑)

(良くなかった) 1人(3.4%)

・好きなタイプの映画ではなかった。古いせいかわ、音が悪く、セリフが聞きづらい部分があった。

○講演についての評価

(とても良かった) 12人(57.1%)

・講演始まる前に設備の問題。

・今までの講演の中で一番素晴らしかったです。話し方もお声も内容も満足でした。

(良かった) 9人(42.9%)

・新しい知識を得ました。

・「西部警察」シリーズなどで共演されていた故渡哲也氏(大門部長刑事)のお話等を以前の作品の時に、神奈川県立音楽堂でされていたので、本日も良い内容をお聞き出来て良かったと思いました。

第75回「帰郷」(2023.9.30) アンケート結果 来場者数:159名 アンケート回収数:39枚 回収率:24.5%

○作品についての評価

(とても良かった) 21人(53.8%)

・とてもすごかったと思います

(良かった) 14人(35.9%)

・座った場所 画面の半分しか見えなかった 頭ばかり すこし寒くなった

(無回答) 4人(10.3%)

<< 次回 第77回上映会のお知らせ >>

『マタギ』

2024年2月10日(土)

上映時間 ①11:30

②14:10

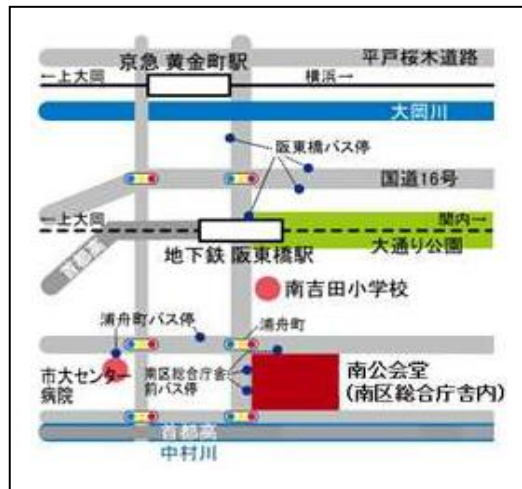
[入場料] 前売 1,000円 当日 1,300円

障がい者 1,000円(介助者1名無料)

[会場] 横浜市南公会堂
南区総合庁舎内3階
045-341-1261

横浜市営地下鉄「阪東橋」駅下車 徒歩8分

京浜急行「黄金町」駅下車 徒歩14分



横浜市南公会堂地図

… 1982年/日本/カラー/103分/DVD上映 …

出演: 西村晃 安保吉人 林優枝 山田吾一 稲葉義男 矢口高雄 伴淳三郎

監督・原作: 後藤俊夫 脚本: 大和屋竺/後藤俊夫 音楽: 羽田健太郎

撮影: 山崎堯也 美術: 大谷和正 助監督: 池田博穂 制作: 小島義史

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう!

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一步でも近づきたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。

横浜キネマ倶楽部会報

横浜キネマ倶楽部 発行



…横浜キネマ倶楽部連絡先…

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
かながわ県民活動サポートセンター No.269
TEL: 080-2554-8023 (10時~18時)
Eメール yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス: <https://ykc.jimdofree.com/>